

実施日時 令和7年6月16日(月)

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

SDGsのマークとかは見た事あったが、内容までは知らなかった。なので ためになりました。

一人一人でもコツコツと始める事が、いざや大きな目標達成につながると思うので、小さい事ですが、自分に出せる事(食品ロスを減らし、マイバッグを持参する、なるべく公共交通機関を利用など)を実践していきたいと思いました。

ありがとうございました。

実施日時 令和7年6月16日(月)

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

本日は お忙しい中 SDGs についてお話し頂きありがとうございます。

SDGs についてしっかり理解することは難しいというのが率直な感想ですが 意識としていなくても SDGs に取り組んでいたのだからとも思いました。この4年ぐらいで家の冷蔵庫・エアコン3台シーリングライトを4つ LED に交換・シャワーヘッドを節水タイプに変えるなど 壊れたこともあり 節電にもなるからという意識でしたが SDGs だと思いました。

これからは少し意識を持って取り組んで行きたいと思います。

一番やりたい事は食品ロスです。できるだけ無駄をなくして有効活用する。たとえば柑橘類の皮は砂糖で煮込んでゼリーにして食べる。または乾燥させて紅茶に入れて楽しむ(リンゴの皮でもよいと思います) その他いろいろ...

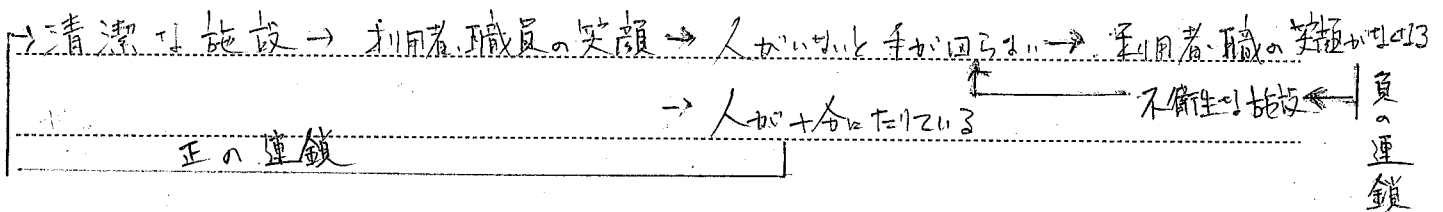
栄養効果もあるので一石二鳥だと思います。

実施日時 令和7年6月16日(月)

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

「SDGs」という言葉はよく聞き、私もエコバッグを常に携帯したり、資源ゴミの分別も正しい方法で行っていたりしていましたが、「SDGs」について詳しく学ぶ機会がこれまでありませんでしたので、今日の講義はとてもわかりやすく、いただいたポイントはいつでも見返せるようにしたいと思います。

人が壊していった環境による気候変動のことには大変な危機感を感じています。今のような状況にあって、どうして世界では戦争が続いているのか？とめどなく増えているのか？と目を見張っていました。人間が主体の「SDGs」とお付き合いしていく地球に生きるすべての生物のために人は環境を良くする責任があると思います。



地球規模でつながりあっている中で、負の連鎖があると思います。人の意識改革と同じ目標に向かい、まともな人間関係が根本になれば、実現できることで、私は正の連鎖がスピラルになっている風通しの良い職場で、高齢者一人ひとりが抱えている困り事に、しっかりアセスメントをして、その人らしい暮らしが実現できるように支援できる。今の職場で私の介護における「SDGs」も考えたいと思います。

終了後も目前に控えて、本人は大変有意義なお話を伺うことができました。ありがとうございました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

SDGsという言葉をよく耳にしていたけど、なんとなく環境に良いことをするという漠然としたイメージでいた。マイバッグの使用や節電、差別をしないなど普段何気なく行っていたこともSDGsに貢献していることがわかったので講座を受けて少しだけ理解を深めた。これからは、もう一歩踏み込んだ考え方や視点を取り組んでいきたいと思っています。また介護分野における「すべての人に健康と福祉を」という目標を意識して介護サービスを提供していきたいと思っています。

ちなみに私も動物が好きなので、人間だけでなくすべての生き物の尊厳と価値を守りたいと思っています。

今日一日ありがとうございました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

地球環境の変化に伴い、介護現場でも資源を無駄にせず、環境に配慮した行動が求められていると感じました。例えば、ゴミの分別や電気、水の使用を見直すなど、小さなことでも積み重ねが大切だと気づきました。リスクマネジメントでは、まず思い込みや決めつけをしないことの大切さを学びました。利用者さんの行動や状態を先入観で判断すると、危険や事故につながる恐れがあります。常に客観的な視点で観察し、記録し、共有する姿勢が必要です。また、ケアプランについては、プランに書かれていることは原則として行っていくけないというルールを学びました。安全確保や責任の明確化のためにも、計画に基づいたケアを徹底することが重要です。同時に、利用者さんの状態が変化すれば、ケアプランも見直す必要があることも学びました。印象に残ったのは、有料老人ホームの実例です。機能訓練や水分補給、腹筋を鍛える支援を継続すること、多くの利用者さんがオムツを外し、布パンツで生活できるようになったとのことでした。適切な関わりと支援により、QOL(生活の質)を大きく向上できることを実感しました。今日の学びを、今後の現場実習や仕事にしっかりと活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

SDGs について、話は聞いたことはありましたが、詳しく
わかっていなかったのを、今回 お話を 聞いて 勉強にでき
ました。普段の生活で、少し意識はしていましたが、これから、
節電、節水、食品ロスをなくし、ごみを減らし、分別をきち
んとするなど、日常生活を無理なく続けられること増やし
ていきたいと思います。

高齢者の相対的貧困も高いようなので、自分に何かできるのか
考え、何かの力になれるよう行動していきたい。

介護現場でも、役立つ情報など お話しを聞いて、これから
どんなところで働けばいいのかわからなかったのを、清潔で
利用者さん、職員が明るく笑顔の多い現場で働きたい
と思いました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

田村薫先生のお話にうかがって

本日お話しにうかがって私たちの暮らしが未来にどうつながっていくかを知りました。17ある目標の中で、私にもできる取り組みはなんだろうと考えた時、「食品ロスをなくす」これは目標に「つくる責任、つかう責任」です。私はつい買いすぎたり、作りすぎたり、食べ物を捨ててしまったりして無駄が多かったと思います。ですので、買い物に行く前に冷蔵庫にある食材を確認して、無駄なくつかいきるようにする。外食の時も食べる分を注文する。こんな小さな事でもやらないよりはやった方がいい！意識する事が大切と思い、コツコツとやりたいと思います。

それにやはり物価高の今、食品ロスを減らすという事は、家計の節約にもなりますので！また、このSDGsの話と家族やまわりの人たちに話すことで、彼らにも興味をもってもらえたらいいと感じました。

私のような一般人が、地球の未来に何かできるのかを考えても、正直何もできない気はしますが、持続可能な社会の実現と意識しながら生活できたらと思います。

そして私は今後介護の仕事に就きたいと思っていますので、目標3「すべての人に健康と福祉を」に力をおきたいと思っています。高齢化が進む日本で、高齢者の方々を支えるこの仕事はSDGsに大きな役割をはたせるのではないかと考えています。

SDGsが17の目標やそれぞれの意味、先生の具体的なお話で理解することができました。SDGsが少し身近に感じられました。

大変貴重なお話しありがとうございました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

<講義内容:SDGsの概要 及び介護現場の実例紹介 / 田村先生>

最初は、介護職とSDGsの関係性って?という感じでしたが、

“17の目標”のうち少なくとも 次の3つ…「3:すべての人に健康と福祉を」「8:働きがいも 経済成長も」「11:住み続けられるまちづくりを」は当てはまりますし、他の項目についても 多かれ少なかれ関わりはゼロではないですね。

ある 特養施設では、水分摂取と歩行をして頂くことで、便秘薬を使わない自然な排便コントロールを促しているとのことでしたが(素晴らしい取り組みなので、施設名を知りたいです)、使い捨てオムツの使用頻度が減ることは、上記3つだけではなく、「5:気候変動に具体的な対策を」にも繋がるでしょうし、一つ一つは小さな一手かもしれませんが、沢山の手が行えば、大きな一手になりますよね。

貴社のパンフレットを入れるのに使われていた半透明のクリアファイルは、おそらく紙製だと思うのですが、脱プラスチックがさりげなく行われていて、日常的に出来ることを実行していることが伝わって来てとても好印象でした(気付かない人もいますので、“こんなこともしているよ”と実例紹介しても良かったのでは?と思いました)。

「ひもときシート」の件など、書き切れませんが沢山の貴重なお話を聴けて、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

今回 特別講座を受けて、何度も耳にしたことのある「SDGs」を学びとして改めて資料を拜見し、SDGsは一過性のものではなく継続していくものだと思います。その中で資料に記載されていた世界の目標「人間の尊厳と価値を守ること」という言葉に少し違和感を覚えました。今現在掲げられている世界の解決すべき17の目標は、人間が人間のことにだけ考えて生活してきたことゆえに生じてきた課題だと思います。それをゴールとして「人間」だけに焦点を当てるのは根本的な解決には至らないと感じました。私たちは人同士だけでなく動植物や気候などさまざまな自然環境からも大きな影響を受けていることを心に留めて問題解決に向かっていく必要があると思います。

ですが、今日の学びからSDGsのような多くの人にわかりやすく示された目標があることは解決のための糸口 に必ず繋がると感じました。

講座の中で先生がはじめにおっしゃっていた3つの重要な要素を指針とし、それぞれの問題点への理解を深め、自分ごととして考え、何ができるかを日々の生活の中で意識し行動してまいります。

ありがとうございました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

SDGsについては以前勤務していた会社でも勉強しました。SDGsというワードが脱炭素環境へとつながります。加えてSDGsは「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現に向けて介護との関係性が深いと感じました。目標は17ありましたが特に先生の会社では子育て世代の方が多く働いていると知っていました。介護業界は慢性的な人材不足という課題を抱えていますが先生の会社は働きやすい職場環境なので

SDGs目標8の働きがいも経済成長もにつなげる会社で素晴らしいと思いました。扶養の役割高齢になっても安心して暮らせる場所を築くことにつながることで介護の仕事は大きな役割を果たしていると思います。二の前勉強した地域包括ケアシステムやバリアフリー化も目標11住み続けられるまちづくりにつながるにつながっていると思います。先生が最後に「SDGs宣言書」に書き込みの時間を下さいましたが身近にできる内容を記入しました。地球規模の課題解決という大きなことではありませんが、歯磨き中は水を出しっぱなしにしない。マイバックやマイボトルを持参する等身近なことから日々のちょっとしたことを意識して行動しようと思いました。

また最後の時間に仕事についてお話しして下さいましたが就職の見学の際は施設の清潔感利用者さん介護者の笑顔が大切だと知っていました。教えていただいた3つを職場選びの参考にしたいと思います。

実施日時 令和7年6月16日(月)

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

脱炭素は正直現実的ではないというの
感想です。SDG'sでの取り組みや個人での
考えで対応していくことはとても良いことだと
思いますが、脱炭素ではなくカーボニュートラルが
現実的だと思います。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

SDGs、何度も聞いたことのある言葉ですが、しっかりと内容を学んだのは
はじめてでした。必要な事である事は理解してはいるが、正直私は「胡散
臭い」と思っている一人です。SDGsの名の下に、あやしい商売を
している人を見たことあるし、実際に詐欺的な事件も起きていたと
思う。また、脱炭素の叫びで欧州でEVが推進されてはいるが、
政治的な思惑も多く、中国製のEVが市場と支配するようにな
ると方針を一転させている。SDGsや環境問題には常にその
手の「あやしさ」を感じている。企業の植林活動も宣伝効果や
目的でカーボン・ニュートラルは二次というのが多いのを知ったのが
いい。SDGsの推進に必要な事もあり、そのためには、私たち
市民一人一人の意識を変え、草の根の活動の積み上げが必要だ
と思う。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

講座を受ける前 SDGsと介護と関係あるのかと思っていました。
そしてSDGsで、環境保護ぐらいしか知りませんでした。
今回の講座でSDGsは17項目あり、169のターゲットもあり、驚きました。
その項目には経済成長、環境保護といった物があふれ、
CO₂削減と掲げている炭素依存の国など予備にある中でも個人個人
でどういう事ができるのかと考えるよい機会になりました。二つの
情報におどろかされるのではなく、多方面の情報を知り、多々
面な考え方を特つ事の大切さを知りました。
それは、介護現場でもアセスメントを行う際にそ利用者さん
のために色々な情報を集める時にとても同じ感じがしました。
また、講座後と介護の仕事を選ぶ上でのバネ替え、アドバイ
スみたいな事を知れたのかととても良かったです。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

SDGs という言葉は、何度も目にしたり、耳にしたりしてはいたが、
具体的な内容をきちんと把握していなかったのが、今回、
詳しく教えて頂き、よくわかりました。

企業や自治体のユニークな取り組みの例もあり、イメージを
つかむことができました。

また、脱炭素とカーボンニュートラルの違いや、カーボンニュートラルの
抱える矛盾と解決策について教えて頂きました。

SDGsの掲げる目標を全て達成するのは難しいと思いつたが、
私たち一人一人が今すぐできることもたくさんあることがわかった
ので、気負わずに、電気の節約など、小さなことから始めてみよう
と思いました。

一人一人が小さな一歩を踏み出すことで、それが集まれば、
大きな力になると思っています。

田村先生の豊富なご経験からの介護現場でのお話も
参考になりました。

本日は、貴重なお話をありがとうございました。

特別講座「介護施設の脱炭素について」を受講しての感想

今日の講座で SDGs の基本や SDGs と社会の関わりについて、わかりやすく丁寧に教えて頂いて、非常にいい学びになりました。

まず、「SDGs とは何なのか」から始まり、生まれた背景、17 の目標、初めて知った MDGs のことと SDGs との違いなど、新しい知識が沢山あったのですが、例を挙げながら説明してくださったので、よく理解することができました。また、脱炭素とカーボンニュートラルについては、普段から見聞きする言葉ではあるものの、違いまでは知らなかったもので、新たに学ぶことができました。

そして何より大切だと思ったのは、SDGs は他人事ではなく、自分にとって深く関係している我が事であるということです。人は一人では生きていけない、だからこそ、周りの人、動物、自然を考え守らなければならないと、改めて気付きました。「持続可能な社会のために」ということを意識し、今日頂いた「ナマケモノにもできるアクションガイド」を手本に、私でも日常生活で取り組むことのできる SDGs のアクションを実行していこうと思います。